

「香取市学校等適正配置計画実施プラン第一次改定版（案）」に対する パブリックコメントの実施結果について

「香取市学校等適正配置計画実施プラン第一次改定版（案）」について実施したパブリックコメントの結果について、次のとおり報告いたします。
貴重なご意見をお寄せいただき有難うございました。

1. 意見募集の結果概要

意見の募集期間	平成 27 年 2 月 9 日～平成 27 年 3 月 10 日
意見の提出件数	提出者数： 2 名 意見件数： 9 件
意見への対応等	意見を参考に案を修正したもの： 0 件 原案のとおりとしたもの： 9 件

2. 意見の内容及び意見に対する市の考え方

No.	意見の内容（要旨）	意見に対する考え方	修正有無
1	<p>【6 ページ 3 香取市の学校等適正配置の基本方針】 （2）教育環境の公平性の確保（教育の機会均等） ・・・学校規模による教育環境の不均衡や地域格差等の是正、義務教育の機会均等等・・・ （3）学校運営の効率化と教育資源の有効活用 ・・・学校運営の効率性の向上や教育資源の再配分による有効活用・・・</p> <p>【意見】 上記の文言は、市民感覚では何を表現したいのか（訴えたいのか）見えてこない。基本方針であるからこそ「もっと平易な且つわかりやすい」表現とすべきと考える。（具体的な事例を挙げてもよいのでは。）</p>	<p>「3 香取市の学校等適正配置の基本方針」のところでは、基本方針についてなるべく長文とならないよう要点を簡潔に表現したものです。 「（2）教育環境の公平性の確保（教育の機会均等）」について具体的な課題としては、11 ページの「（3）学校規模によるメリット、デメリット」等で説明しております。また、「（3）学校運営の効率化と教育資源の有効活用」については、15 ページの「（3）既存の学校施設の有効利用」で、説明しておりますのでご理解をお願いします。</p>	無
2	<p>【7 ページ 4 実施プラン推進に向けた基本課題】 （3）将来を見据えた学校の適正配置 ・・・中長期的な計画行政に基づき・・・</p> <p>【意見】 市長の行う「人口減少に対する施策（企業誘致等）」による効果を5ページの児童生徒数の推移に盛り込むべきではないか。</p>	<p>実施プラン第一次改定版で行われている児童生徒数の推計は、実際の出生数を基に推計したものです。人口減少に対する施策の効果としての、児童生徒数の把握は困難なことから、現状のとおりとします。</p>	無

3	<p>【7, 8ページ 4実施プラン推進に向けた基本課題と5香取市における学校の適正規模と適正配置】</p> <p>【意見】</p> <p>4点の基本課題を掲げた後に、5として唐突に学校再編・・・が記載されるのでしょうか。課題の一つ一つの解決策等の記述があって「教育委員会が進めるべき施策」を述べるのではないかと考える。(一部後述しているようですが。)</p>	<p>「5香取市における学校の適正規模と適正配置」では、適正規模と適正配置のどちらを優先させて、再編計画を検討するかを記述しております。</p> <p>「教育委員会が進めるべき施策」は、「7 香取市の学校再編の基準と考え方」以降で述べておりますので、ご理解をお願いします。</p>	無
4	<p>【意見】</p> <p>1 小規模校のあり方（存続の工夫）を含めた議論がなされたのでしょうか。</p> <p>2 学校は地域の核であり、教育委員会は、再編ありきで効率化・適正規模・適正配置を位置づけているプランに思えてならないのですが。</p>	<p>1 学校の小規模化解消には、統合をせざるを得ないところであります。小規模校のまま学校を残しておくことは、教育環境の低下が避けられない状況にあると認識しております。その状況でも9ページに「6-（2）許容できる小規模校の下限」で学校規模の下限を定め、学校を残していきたいとしています。</p> <p>2 実施プランは、学校が小規模化に向かうことや、それに伴う課題や再編方針、再編案について述べています。特に再編案は、地域への提案であり、市民協働を進めるとしていますので、ご理解をお願いいたします。</p>	無
5	<p>【意見】</p> <p>「市民協働による」というのであれば、地域の代表者を公募により選定する手法を講ずることにより、より透明性のある、より地域の実情を考慮したプランに反映できると考える。</p>	<p>実施プランでは、16ページの「8市民協働による学校再編の推進」で検討、協議を行う組織を地域の代表、保護者の代表、学校等の代表で設置し市民協働で推進するとしています。</p> <p>地域の代表は区長、民生・児童委員、学校評議員、まちづくり協議会会長等で構成し、保護者の代表はPTA役員等で構成し、学校の代表は校長、教頭で構成しておりますので、透明性等の確保に努めておりますので、ご理解をお願いします。</p>	無
6	<p>【意見】</p> <p>計画の16ページにあるように、この計画では当初より”市民協働“が明確に打ち出されており、「地域検討会議」の果たす役割が重要かつ大きいはずですが、統合等の候補になっている地域・学区においても「地域検討会議」が設置されずに、現在の学校の保護者への説明会やアンケート等が実施されている状況に疑問を感じます。</p> <p>昨年、9月30日の香取市自治会連合会において、「保護者より地区への説明を優先して欲しい」という意見に対して、「保護者の説明が先。保護者段階で“No”なら計画案はそれ以上進まない」旨の答弁がありました。が、“Yes”、“No”の最初の判断をす</p>	<p>ご指摘のとおり、実施プランを推進するために地域検討会議や代表者会議を設置し市民協働で地域の意向をまとめ、地域の合意形成を図ってきました。</p> <p>会議の中では、保護者の意見が重要であるという意見が、ほぼ共通してあったことから、保護者の意見を取りまとめた後から、地域検討会議を設置、開催することにより、会議を円滑に進めることができることや、保護者の代表で参加している方々の負担（保護者の意見集約）を軽減できることに繋がります。また、保護</p>	無

	<p>るのは「地域検討会議」であり、「地域検討会議」が主導で地域の意見を把握するために、必要に応じて様々な説明会やアンケート等を実施するのが、本計画の基本スタンスだろうと思います。</p>	<p>者の意見を地域は重要視していることから、学校再編は保護者の理解が得られなければ、進まないことと思料されます。</p>	
7	<p>【意見】 10ページに、小学校の許容できる小規模校の下限は、120人。少なくとも1学級に20人（4×5グループ）とありますが、この数字の根拠は何なのでしょう。 候補になっている各校の統合理由が、唯一この“120”という数字で語られていますが、そうであれば、この“120”“20”という数字については、納得の得られる説明が必要だと思います。 そうでないと、現在120人以下の学校、20人以下の学級では、適正な教育が行われていない・・・、教育成果が上がっていない・・・との誤ったメッセージを発信してしまい、それらの学校・学級の日頃の努力や名誉・誇りを否定することになりかねません。 小学校でも中学校でも、大規模校への統合が普通のように計画されますが、小規模校の教育成果の高さを忘れてはならないし、“よい学校”を簡単に“なくす”ことは大きな損失です。</p>	<p>教育活動中でのグループ活動やその際の人数、また、少人数学級の利点を生かし、小規模校の短所を小さくできることなどを考慮し、下限として1学級20人が望ましいと考えました。 児童数120人の記述は、9ページの「6 適正規模及び小規模校の下限とメリット、デメリット」の「(2) 許容できる小規模校の下限」の中で述べているところですが、その冒頭で、「本市においては、単学級であっても、各学校の努力や創意工夫により、教育水準を維持しながら学校運営がなされております」と現状を説明しております。 香取市内の小中学校では、小規模校であっても、各学校の努力や創意工夫により、教育水準を維持しながら学校運営がなされておりますが、今後も児童生徒数の減少が見込まれる状況であるため、実施プランでは、児童生徒の教育環境の向上を図るため、小中学校は適正規模校、又は、小規模校への統合を提案しております。</p>	無
8	<p>【意見】 教育委員会の立場から現在そして将来の学校配置のあり方を考えた時、このような計画がひとつの方策として出てくることは理解できますが、各地域にとってのメリットやデメリットも十分に考慮する必要があるのではないのでしょうか。 この計画に、各地域を将来に渡って存続（元気を維持）させるという視点での検討の跡が見られないことは残念です。地方創生・地方再生が、今、危機感をもって語られ、各地方自治体において「ひと、特に若い世代」をいかにして地域に留めるか、いかにして地域に呼び込めるかのアイデア勝負が展開されてきています。“各地域の存続（元気の維持）”“は、何よりも大きな課題であり、地域の”魅力“の一要因として”学校の存在“は極めて大きいと思います。</p>	<p>これまで開催してきた地域検討会議などでも「学校が無くなることで地域の疲弊を危惧する。」意見や「学校は地域のシンボルで閉校が惜しまれる。」などの意見も頂いてきました。学校の存在は、地域にとっても重要なものですが、「将来ある子どもたちの教育環境を優先して考えざるを得ない。」という意見も、いただきました。実施プランを推進するにあたりましては、地域検討会議の場等でメリット、デメリットや学校の存在意義などについても話し合っ、地域の意見を集約した上で、進めていくこととしておりますので、ご理解をお願いいたします。</p>	無
9	<p>【意見】 既に、統合が決まり、次のステップに進む地域・学校もあるようですが、「できれば学校は残したいが仕方がなく」が本当の気持ちでしょう。そういう気持ちに寄り添う</p>	<p>実施プランは、児童数の減少から、学校規模により教育内容に格差が生じないよう、「教育の機会均等」「教育水準の向上」を目指すことを目的</p>	無

	<p>情（共感的理解）を持ちつつ、若者に魅力ある地域づくりにも一緒に努力しよう！複式学級の基準の見直しや教員の配置についても県や国に十分働きかけ、行政としても“弱者（小規模校）”の立場に立って十分努力しよう・・・そんな姿勢を期待しています。“公”と“民間”の違いがそこにあると思います。</p> <p>市民協働、これからの地域づくりに欠かせない発想です。考え方は違っても“信頼関係”は生れ、光明は見いだせますが、行政の計画を強引に進めようとする姿勢からは”協働“に最も必要な“信頼関係”は生まれません。地域に責任を持ち続けるのは、その地域の人々です。</p>	<p>としております。</p> <p>異学年の児童生徒が同じ教室で学ばなければならない、複式学級の対象となる学校も常態化している傾向にあります。</p> <p>このため、これまで市民の皆様と検討協議してきた結果を踏まえ、平成37年度を目標に香取市全体の小中学校の配置を見直した第一次改定版（案）を作成いたしました。</p> <p>また、学校は地域の核である観点から、なるべく地域に学校を残しつつ、集団学習が可能となるよう小規模の下限を定め学校再編を考えました。</p> <p>学校再編を進める上では、各学校区ごとに地域検討会議を設置し、話し合いの場を設け、地域の皆様と市民協働で協議させていただきますのでご理解をお願いします。</p>
--	---	---

3. 問合わせ先

香取市役所 教育部 教育総務課

TEL 0478-50-1220 / FAX 0478-54-5550